

第18回富山地区学校再編検討委員会 会議録

日時 平成23年8月30日(火) 午後7時
会場 富山公民館 講義室
出席委員 23名
欠席 なし
傍聴 なし

1. 開会

2. 委員長あいさつ

大変暑い中また夜分お疲れのところ御苦労様です。前回まで富山地区の小中学校のあり方と言う事で小中一貫教育についても色々と審議いただきました。それについては、保護者等の集まりで色々と検討されたようであります。今回は皆様方の貴重な意見をいただきながら一定の方向が出せればと考えています。

それから専門部会の皆様方にはお疲れのところ色々とご審議いただいております。本日報告等あるかと思いますので検討いただきたいと考えています。宜しくお願いします。

3. 教育長あいさつ

この検討委員会に関しまして、専門部会の方々には暑い中お集まりいただきご協議してきたかと思います。

また、小中それぞれのPTAの方に私共から説明する機会あるいは意見交換の場を持っていただきましたこと感謝申し上げます。ありがとうございます。

非常に厳しい状況があると色々なところで申し上げていますが、その1つ目が今年から初めて全員5教科500点満点の入試を受けるようになり、安房高に7クラス280人合格しました。しかし、280人中400点以上で入学した生徒が7人しかいない。非常に壊滅的な状況だということで、安房高や長狭高の校長より私共も頑張りますが小中学校でも頑張らせるようにして下さいと話がありました。

2つ目に私も数字を見て驚きましたが、人口の社会増減は毎年大体1400人前後転入してきて同じくらい転出していくのであまり変わらない。何が人口を減少させているのか。毎年700人前後の方が亡くなり200人前後産まれている。その差の500人程度が減っている傾向が5年くらい続いている。これから先も続くとなると学力の面でも人口の面でも大変な状況になる。数年かけ計画を立ててやるとなると手遅れになると思う。考えるより行動しなければいけない。皆さん方は突然で驚きがあるかと思いますが、先行き厳しい状況があるので今良かれと思えることは全てやっぺいこう、出来るだけ早くやっぺいこうの思いでやっていますのでご理解いただき今日の会議も進めていただければと思います。よろしく申し上げます。

4. 報告

(1) 第17回会議検討結果報告について

質疑等特になし

(2) 平成23年度専門部会検討状況報告について

通学支援：運行経路と招集箇所、子供の分布等は調べてあります。あとはカリキュラム部会で幼稚園、小学校、中学校の終業時間の決定後に各停車場、出発時間等を検討していきたい。

学用品：特に幼稚園関係を話し合っております。保護者の意見を反映させながら決めていくため、岩井は9月1日、平群は9月9日に保護者会を開催し現状を説明しながらアンケートに答えていただくスタイルで今後検討を進めていく。それ以外には細かい所を相談して少しずつ話をしているところです。

P T A：まず幼稚園と小学校を分けて、会則についてすり合わせを行いました。富山幼稚園父母の会と富山幼稚園ベコちゃんクラブ、これは案ですがほぼ出来上がりました。富山小P T Aの会則についてもすり合わせを行いましてほぼ出来上がりました。名称についてはこれからの検討課題です。

校歌校章：校歌は長狭学園と富浦小がどのような形で行ったか聞きました。校章は白浜小からいただいた資料を参考に補足していく形になっています。

行事：細かいところまでは決めていません。運動会、修学旅行、宿泊体験学習の大きなものについては話し合いを進めました。

分からないことは4月の着任式、始業式以外に統合式があると伺っているので具体的にどう進めるのか、今年度中に見えるようしようと話しました。

カリキュラム：先程、通学支援部会の関係で日課表が決まらなるとバスの行程表も決められないとのことで、9月になったら早速始め幼稚園を含め特に下校の関係をしっかりと定めないといけないと思っています。

事務局：以上について質問ありますか。

委員：スクールバスのことで、本年度からデマンドタクシーがなくなる代わりにスクールバスに乗せてもらえよう企画政策課が検討してくれる話になっていますが日程はどうなっていますか。

事務局：その話はどこから聞いた話ですか。

委員：トミー号が復活するが便数を増やせないとのこと。スクールバスの併用も考えたいと話が出たがどうなっていますか。

事務局：今の段階では教育委員会に実際の話が来ておりません。企画政策課と話しを詰めた中でお答えします。

委員：トミー号の運行は10月から開始ですよ。

事務局：明確には分からないが、一応10月から平久里中、山田、荒川の上3区に今まで行っていたデマンドタクシーがなくなり、トミー号が復活するようなこと

で聞いてはいます。ただ、スクールバスの併用について一切話は聞いていません。

委員長 和田地区には生徒と一般の人が一緒に乗る混乗バスある。富山については4月に小学校が統合されてから混乗バスも考えられるのではないかな。

委員 しかし、現在もスクールバスは動いていますよ。

ワザンバー トミー号が10月1日から運行するが、電話予約があった時のみトミー号が丸大井に行く。それ以外は今までどおりの運行となる。混乗バスの話が出ているのは富浦のさざなみ号がスクールバスとしても使用しているので混乗バスとなっている。しかし、トミー号の場合は指定バスとしての運行です。

委員 トミー号の便数が増やせないとのことなので、他にスクールバスも利用出来ないか上3区長と企画政策課との協議の中で要望したところ、企画政策課が教育委員会と調整するとの話でした。

ワザンバー 増やすことは無いと思う。デマンドタクシーにかかる経費の半分を国の補助金で行っていたが、今年の3月で国の補助が切れてしまい4月以降は全て市の予算で行っている。それを止めてトミー号を10月から元に戻し運行するだけの話です。

委員 だからスクールバスも活用出来ないかと要望した。

ワザンバー それを企画政策課に要望したらトミー号の運行に制限が出てくるのではないかな。

事務局 混乗バスとスクールバスの違いについてですが、富浦の場合には自慢号という企画政策課が所有しているバスの始発便と最終便をスクールバス運行として利用し子供達が乗っています。こちらのトミー号の朝と晩の便をスクールバス運行しているようなイメージになります。ですから昼間の時間帯は基本的に市民の方々が利用している。この場合は両方が乗れて良いと思われませんが、一般のスクールバスのように子供達の校外学習や試合の時など学校で特別運行する場合がありますが、通常運行がありますので当然出来なくなってしまうのがひとつの特徴です。

逆にスクールバスとして登録すると児童生徒の送迎に目的が限定されてしまうので、特別運行しやすいが一般の方々が乗せられない。

よって、トミー号を通学バスとして利活用するとの議論は成り立つと思います。ただその一方で、スクールバスを市民の方の日常の生活に活かすという議論も出来ますが、両方活かすことは難しいことは制度の違いを説明しましたのでご理解いただければと思います。

また、企画部で地域交通について協議する機関があります。それが近々開かれますので今の要望については協議がなされるものだと思いますので、その結果待ちでご理解いただきたい。

- 委員 スクールバスにすると補助金は出るのか。
- 事務局 運行経費については交付税に上乘せされ、購入についてもいくつかの補助金の制度があるので、もし購入する場合は一番良いものを活用します。
- 通学支援 9月のカリキュラム部会の決定を待って第4回の会議が開けると思ったが、ある程度出来上がった後に急に乗り合いになることもあるのですか。
- 事務局 通学支援部会は今所有している2台のスクールバスと可能であれば3台目が欲しいとの話で、子供達のためだけに使えるバスの運行計画を立てていただいていますので、そのまま進めていただいていると思います。運行計画が出来た後混乗バス運行もしていくとなった場合には、通学支援以外の昼間のことで別途考えることになり今の段階で考慮してスクールバスの運行計画を立てる必要はないはずです。
- 委員 例えば、登校時に子供以外が乗ることで学校の始業時間に間に合わなくなり困ることも出てくるのではないかと。
- 事務局 時間の問題もあるがそれ以上に定員の問題がある。小学生の場合は、全員座った状態で運行することが基本で他の方まで乗せきれないこともある。通学時間帯に乗る場合は、子供の通学を優先に他の方は乗れば乗せるという形になるかと思っています。また、昼間の運行や特別運行などの兼ね合いも出てきますので色々考慮しなければいけません。しかし、それはあくまでもスクールバス運行計画が出来た後にどのように入れられるかという話になりますので皆さんはそこまで考慮するのではなく、新しい学校へ子供達を通学させるのにどのように運行したらいいのかを考えていただければいいと思います。
- 委員 特に別便とかではなく既に運行しているバスが市民の足になればいいと思ったので、その中でまた検討していただければいいです。

5. 議事

- 事務局 傍聴人なし。
- 委員長 第1号議題「富山地区小中学校のあり方について」。
- 事務局 前回会議で保護者の意見を聞く場を設けたらどうかと意見がありましたので岩井、平群幼小また富山中学校保護者に対し小中一貫教育について説明会を各PTA主催で行いました。保護者の反応としまして一定の理解を得られたと私共は感じております。教育委員会としましては次の段階に進めさせていただければと思っています。
- 委員長 説明会での雰囲気や意見を代表の方お話し願います。
- 平群PTA 教育委員会より説明していただき、その後、質疑応答の時間をとりました。前の家庭教育学級の時に質問等は考えておくよう伝えてあったので、皆さん納得したが突然のことで決め兼ねるとの意見もありました。教育委員会が退席してから話し合い、最終的には小中一貫校で設備を整えて子供達に良い環境が出

来るのであれば小中一貫校の方向性でいいのではないかということになりました。

岩井PTA 岩井小学校も教育委員会より説明していただいて質疑応答を行いました。概ね賛成の方が多かったのですが、親の立場として保護者から見た一貫教育がどうなのか先進校である長狭学園の保護者の方から話を聞くとより理解が深まるのではないかと意見が出ました。教育委員会の退席後会長を中心に話し合いましたが、まだ疑問が消えない部分があり、採決を取りはっきりとした回答までは決められませんでした。しかし、一人ずつに配ったアンケートにご自分は賛成、反対、保留どれなのか書いてもらい提出してもらいました。その結果、賛成37、保留21、反対5でした。この結果から概ね賛成という方向でいいのではと判断しました。意見のあった保護者から見た一貫校についてをPTA本部役員と校長教頭で話し合い、長狭学園の保護者をお願いして岩井小で対話集会を10月1日に行います。

中学PTA 岩井小と同じく保護者から見てどうなのか知りたいとの声はありました。

委員長 保護者の意見以外に他の委員の皆さんはどうですか。

委員 概ね保護者の意見が一貫校にしていったほうがいいというのは伝わってきた。そういう方向であれば、あとは一般的な説明会を開いて住民の理解を得ながらいくほうがスムーズにいくのではと考えております。

委員 反対の5名は、どんな点で反対なのか聞きたい。

岩井PTA 反対意見として、

- ・小学校の延長のように終わってしまい高校入学の学校環境の変化がより負担になるのではないか。
- ・中学生と学校生活を送ることに不安。
- ・下級生への影響が心配。
- ・性についての問題。
- ・先に見える情報を提供して欲しい。
- ・校舎の建設や内容等を十分に保護者に説明して欲しい。
- ・デメリットがわからない。
- ・長狭学園の現在の様子を聞いてみたい。
- ・登下校の不便が多そう。
- ・今の富山中学の敷地面積では狭そう。
- ・ぬるま湯に浸かった状態にならないか。
- ・体育館の使用で中学の部活と小学校の体操陸上練習が重ならないか。
- ・小学生は徒歩、中学生は自転車で危なくないか。

などが反対意見です。

委員 保留の数が多いが賛成の保留ですか。反対の保留ですか。

岩井PTA 保留の多くは、反対ではないが急で考える時間が少ないため賛成するわけにはいかないとの感じなので、時間が経てば賛成になる方が多いかと思われま

委員長 特に反対でなければ検討委員会としては小中一貫校の方向で了解して、説明会は教育委員会が主催する方向でいかがか。

委員 数年後に困った事態が起こった場合には中学統合の話もありえますか。

教育長 小学校部分を残して他に転用できるものは転用していく形は十分ありえると思います。

委員 新たに小学校だけにして中学は他と一緒にできる可能性はあるのですか。

教育長 ゼロではない。

委員 小中一貫校にしたら中学校の統合の話は無いとなれば慎重に進めていかなく

教育長 あります。

委員 前回、補助金をもらう関係でそれはないと答えていたが。

教育長 それは建物を10年間転用出来ないという話です。

委員 その関係があるからありえないと。

教育長 少なくとも小中一貫校にしたら10年はやります。その後の人口の移り変わりなど問題が出てきた時は、中学校の統合は全くゼロではなくて考えていくべき問題だと思っています。

委員 前回は内房地区の統合はありませんと言っていたが。

委員長 10年以内での中学統合は無理かと思いますが、他にご意見が無ければ検討委員会としては小中一貫校で進めていけばいいかと思いますがいかがですか。

教育長 10月1日の長狭学園の保護者の方達の話の伺って、保留あるいは反対の方の不安などを解消するような形で説明を続けていきたいと思ひますし、校舎の建設等の問題についても努力はしていきたい。先駆けてやっている長狭学園と比べてもそれを上回るような条件あるいは環境の中で小中学校が進めていけるようにやっていきたいと思ひます。

また、今まで議論いただいてきたことも含めまして地区の方々には丁寧に説明していきたいと思ひます。

委員 以前中学の先生から小学校時代に基礎を学んでこない子供達に中学の難しい授業を展開していくが大変教えづらいとの話を聞く機会がありました。教育のレベルも下がっている中で今までのようにただ小学校と中学校が一緒になったのではなく、先生方、父兄、PTAなど大勢の人数でより深く色々な知恵を出し合って少しでもいいレベルに進むように一貫校を活かしていかないと意味が無いと思ひます。

委員長 ありがとうございます。それでは先程申し上げたとおり富山地区の小中学校のあり方として富山地区検討委員会としましては、小中一貫校で進めていこ

うと思います。続きまして、「専門部会検討状況の協議について」。

事務局 専門部会からこの検討委員会での判断が必要とされる案件がありましたら発言をお願いします。

通学支援 小浦など岩井地区でも通学距離が遠い子供もいる中でスクールバスは平群地区のみと決めたがよろしいか。

事務局 教育委員会の通学支援の原則として3点。1点目は、新しく統合するから必ず新しいバスを購入するのではなく、既にあるバスまたは公共交通の利活用を第1に考えます。2点目は、統合により新たに通学不便が生まれる地域の子供達に対して支援を考える。ですから、小浦の場合には、岩井小を使用しての富山小学校の通学について新たに通学不便は生まれません。

通学支援 中学校の敷地内に移転になった時は。

事務局 今回は対象にならないが、中学校へ移転となると考慮する対象になると思います。

通学支援 3・4年後に検討するのか。

事務局 そうですね。そこもどうするか検討していいかと思いますが、今は原則だけ申し上げます。最後は学校から概ね2キロメートル離れた地区に在住の子供。例えば、2キロ地点がAという行政区の真ん中にある場合、同じ行政区内で乗せる子と乗せない子を分けるのではなく、2キロ離れた行政区の子供については対象とする考え方をします。その際に2キロ離れたところにあるバス停より近いところに新しいバス停は設定しません。もし1700メートル離れた所に家がある子供がスクールバスを利用する場合は300メートル戻ったバス停から乗せる話になります。

通学支援 岩井小学校を使うので岩井学区の子供は、今回は対象にならないという考え方でよろしいか。

事務局 原則はそういう考え方です。

教育長 よく統合すると子供達の足腰が弱くなり、今まで競争すると速かった学校の子供達が途端に衰えてきていると感じます。バス通学にする基準は必ずしも2キロとは決まっていませんので、富山地区の子供はこのくらいの距離は歩かせようなどの議論があっても私はよろしいかと思います。皆さん方が富山の子供達の先々を考え、どうするのがいいのか考えていただければと思います。

通学支援 学校まで十分距離があり、その前をバスが通るのに歩いて通う子が出てきてしまうなど去年色々意見が出たが、2キロの話も聞いていたのでそれが基準になるのかとと思っていた。岩井学区は通学状況が変わらなければ対象にならないと原則を知っていれば私も答えられたがその線引きが分からなかった。

事務局 同じ状況が白浜の乙浜地区でありまして距離が同じように遠いのに、スクールバスは出ないのかと議論がありましたが、原則どおり既にある通学支援を今

までどおり継続していただくこととさせていただきます。

委員 富山中学校の所へ移転した場合、岩井地区で一番遠いのは小浦かと思うがどのくらい距離があるか。

通学支援 4キロ近くあると思います。

副委員長 昔は全て徒歩通学でした。

通学支援 2キロの話が色々なところから情報として親に入っていたので、ここは2キロより遠いとの意見が去年あった。しかし、学校の位置が変わらなければ通学支援も変わらないという原則があると説明できる。

委員長 他にありますか。特に無ければ以上にしたいと思います。次に「検討スケジュール及び次回会議開催日程について」。

事務局 次回会議を10月中旬に開催したいと思うがいかがでしょうか。

委員長 皆様いかがでしょうか。

委員 幼稚園の入園説明会の時に、スクールバスの大体の時間を知りたいと言われています。専門部会で案を作り、検討委員会で承認を得られなければ公に言えないと思いますが10月中旬で間に合いますか。

事務局 入園説明会は年明けの1月末から2月頭くらいです。

委員 年内に何かありませんか。

事務局 11月下旬くらいに最終的な承認が得られれば入園説明会の資料としては間に合うかと考えております。

委員 スクールバスの行程等をそこまで全て作らなければいけないのですか。

事務局 去年の富浦と白浜のケースで言うと、保護者の方が入園について色々な説明を受ける会は1月末から2月上旬くらいに設定されていた。そこを目指して検討委員会とのスケジュールでどこまでやらなくてはいけないか逆算した。今言っている年内とは入園募集のことだと思います。

委員 幼稚園に関して言うとその募集時期までに作らないといけないと思っていました。共働きでうまく子供がバスに乗せられるかで保育園か幼稚園か迷っている親から欲しいと言われていたので、そこをゴールにしなければいけないのかとずっと思っていた。親が一番悩むところなので、園服など他の部会もそこをゴールにするのかと思っていた。

事務局 幼稚園か保育園か選ぶ最大の基準とは保育に欠ける家庭。つまり、両親共に働いている場合は保育園に行かざるを得ないわけです。

委員 私立の保育園、公立の保育園、幼稚園また学童もある中で親を一番悩ませているのは入園説明会ではなく募集の時です。どのような状況で子供が通えるかを一番知りたいと親は言っています。

事務局 富山幼稚園はスクールバスでの送迎がありますと分かればイメージ出来ると思います。細かい時間や乗降車場所などは、後で皆さんの要望も受けながら詰

めていけるので募集の段階ではそこまで必要ないのかも知れません。それとは別で私共としては、岩井の説明会でも要望があった幼稚園の預かりについての回答は早めに分かった方が良いのかと思っています。

- 委員 平群の学童はやると聞いていますが。
- 事務局 平群ではなく岩井でもやって欲しいという要望です。
- 委員 急いで11月までに全て決めなくても大丈夫ということですか。
- 事務局 運行表などは2月で十分かと思います。
- 委員長 それでは10月中旬頃に次回の検討委員会を開催したいと思います。以上で議題は終わりです。特に何かありますか。
- 委員 スクールバスの関係で、遠い子はいつも早く乗り、降りるのも最後と思いますが、たまにはコースを逆周りに出来ないか。
- 委員 難しいかなと思います。なるべく差が無いようにバスを3台にして、朝も一番早い子で7時くらいをスタートで考えています。
- 委員 4月からのコースを決めて、もし不都合があれば変更が出来るので当初からそれを含めて細かくやらなくてもいいと思う。
- 委員 一回決まればそのまま行くのかと思っていた。
- 教育長 道路状況などに応じて変えていきますので基本的なもの、一番良いのは子供がバスを乗っている時間が短い形で周れるコースを考えられるのがいいかと思っています。もし不都合が出れば、また協議して改善していきます。
- 委員長 次に「その他」。事務局から報告はありますか。
- 事務局 特になし。
- 委員長 委員からはありますか。
- 教育長 誤解があるかといけませんので、中学校の統合の質問に対しあると答えたが、前回会議で話したとおり現時点では内房3校の中学校統合は考えていません。
- ただ、状況が変わった時に3校の統合も含めて富山中の統合に係わる問題は全くゼロではなくあり得る話だと理解していただたい。
- 平群小 閉校に係わる行事として、11月16日に色々な方をお招きして平群フェスタというのを考えています。具体的には、見るというテーマの時間帯、あるいは作るというテーマの時間帯を設けていきたいと思っています。また閉校閉園実行委員会を立ち上げて行事部会、記念誌部会、歴史保存部会と3部会で協議を進めています。歴史保存部会の中で平群小学校の山があり、どうなっているのか難しく今調べている最中です。
- 岩井小 閉校に係わる行事として、3月末に行います市が主催の閉校記念式典の第2部のような形で子供達の学校を閉めるというセレモニーを歌や音楽中心にやります。もうひとつは閉校記念誌の作成です。現在昭和22年の岩井小学校のスタートからの卒業写真を集めているところです。

委員長 岩井小の改修状況はどの程度終わっているか。
事務局 スクールバスの回転場は完成。それから幼稚園の床も完成しました。夏休み期間中に必要な部分は急いでやり、新学期に入って支障が無いと思っています。

委員 耐震補強は。
事務局 耐震は元々ありますので、補強工事はしておりません。
岩井小 老朽化で床がデコボコだったが平らになり、暗かったので蛍光灯も増やしてもらいました。非常に明るくなり床もきれいになり、9月1日からリフレッシュしていい校舎で勉強が出来ます。

教育長 明日、私共も見に行く予定です。学習環境よりも生活環境が悪いとのことで4年間の限定使用ですが、改修していますので足りないところも出てくるかもしれませんがご容赦いただければと思います。今までと比べれば格段に良くなっていると思います。

委員長 他になければ終了とします。ご審議ありがとうございました。

7. 閉会